



宝木中学校だより

たくましく さとく あかるく いきいきと

平成31年1月号
発行責任者 手塚宏行

新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。

旧年中は文化祭や体育祭など、いろいろな行事において生徒の素晴らしい活躍を目の前にし、たくさんの感銘を受けた一年でありました。

さて、これから3か月は、3年生にとっては自分の進路を決定する大切な時期、1、2年生においては、進級を前にして基礎をしっかりと固め、新たな学年に備える時期となります。

新年を迎え、ますます、生徒一人一人が輝けるよう指導や支援をしていきたいと考えています。

本年もどうぞよろしく願いいたします。



西が岡保育園での保育実習

『博物館連携による理科授業』

12月11日、栃木県立博物館の専門の先生を招き、1年生全クラスで「博物館連携による理科授業」を行いました。

中学校にはない貴重な化石を見たり、直接手で触れたりし、自分の関心のある化石をじっくりと観察し、その当時の環境はどうであったかや、どんな生活をしていたかについて考察しました。

「このアンモナイトの表面にある穴は、恐竜がかじったあとである。その証拠として、穴に合う形の恐竜の歯の化石が近くで見つっている。」など、講師の先生とのやりとりから、自らの考えを深めていくことができました。



主な大会結果等

大会名等	結果・氏名				
県中学校総合体育大会 スピードスケートの部 (全国大会に出場決定)	2年	1000m	3位	小山 美希	
		1500m	2位	小山 美希	
	2年	総合	3位	小山 美希	
	2年	500m	2位	木村 明揮	
		1000m	3位	木村 明揮	
うつのみやジュニア芸術祭合奏の部		優良賞	吹奏楽部		
うつのみやジュニア芸術祭演劇祭		優良賞	演劇部		
うつのみやジュニア芸術祭書道展	1年	金賞	猿田 莉央		
	2年	金賞	三井 大雅		
中学生の税についての作文	1年	優秀賞	(宇都宮税務署管内納税貯蓄組合連合会) 時庭 颯太		
断郊協歩大会 俳句・川柳コンクール 優秀賞	1年	思い出は	友とながめた	あの絶景	時庭 颯太
	2年	紅葉や	木の実散らばる	長い道	坪 爽良
	3年	やけどする	熱くて照れる	親の愛	黒尾 俊

◇◇2月の主な行事予定◇◇

6日(水) 全校朝会、	18日(月) 3年生を送る会準備
7日(水) 県立高特色選抜(～8日)	19日(火) 3年生を送る会
6日(火) 立志式(2年)、特色選抜合格内定	22日(月) 1年保護者会
14日(木) 1、2年期末テスト	25日(月) 専門委員会⑪

※学校だよりは、個人情報保護に対応し、個人名や写真は本人等の許諾を得て発行しています。

自己肯定感を育む

本校では、ここ数年間、学校の目標の中心に自己肯定感の向上を挙げ、意識して取り組んで参りました。
ところで自己肯定感とは、何を指すのでしょうか。一言でいえば、

「自分は生きているだけで価値がある」「誰かに必要とされている」
「自分は大切な存在なんだ」「自分は愛されている」

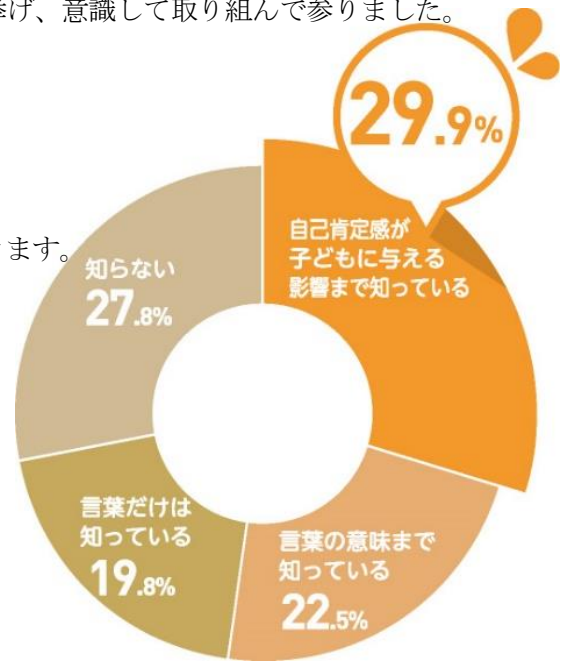
と肯定できる前向きな感情です。これが高い子どもは、
何事にも挑戦していく強い心「折れない心」を持っています。
もう少し具体的に表すと、叱られた時の反応で次のように分類できます。

(1) 自己肯定感が高い人

- あまり落ち込まない
- 自分のミス素直に認める
- より自分を高めるための意見として歓迎する

(2) 自己肯定感が低い人

- 必要以上に落ち込む
- 場合によっては、自分はダメな人間だと感じる（拡大解釈）
- 「絶対にミスはダメだ」と自分を追い込む（完ぺき主義）
- もしかして嫌われているのではと思う（疑いや不安）
- 逆ギレする（拒否反応）



『「ほめ写」って知ってる？子どもの“自己肯定感”を高くする方法』より

では、自己肯定感が高い子どもにするためにはどうしたらよいのでしょうか。

ざっと、次のようなことに配慮すると格段に向上します。

○子どもの話を出来るだけ目や表情を見ながら聞く。また子どもの言い分をまずはよく聞く。

(お父さんが自分の意見を言いやすい雰囲気や環境をつくる)

「悲しいよね」「悔しかったんだね」

「それはお母さんもとっても嬉しいわ！」

など適時共感することも心がけましょう。

○「頑張ったね」「よくやったね」等の認める、褒める言葉を使う。(だけれどと比べたマイナスの発言は避ける。)

子どもの「今」を認め、それに至るまでの努力した過程や過去の本人と比べ、褒めてあげましょう。

○子どもが自分で選択する機会を増やす。

○ダメな事したら子どもの将来の事を考えて愛情を持って叱る。

○社会や家庭、学校でのルールを守ることの大切さを教える。

そして、**挑戦心、達成感、規範意識等もバランスよく育む。**

「また頑張ればいいよ。次はきっと上手くいくよ」

「挑戦したあなたは立派ね」

と言って、子どものガッカリした気持ちを癒す存在になってください。

そうすることで、子どもはまた意欲を持って挑戦するでしょう。

また、我々大人自身も、自らの自己肯定感を高めていくことも大切です。

そして、これらが上手に進むと、右の図のように、**意欲、学習が高まる土台**ができると言われてしています。

このようなことから、本校では、今後とも子どもの自己肯定感などを育てていきたいと思っておりますので、ご理解、ご協力の程よろしく申し上げます。

体罰等に係る相談について

管理職が体罰等に係る相談機会（第2回）を、1月24（木）、25（金）日の2日間設けましたので、該当することなどありましたら、副校長、校長まで、お電話をくださいますようお願いいたします。

(TEL 621-3959)

※学校だより（カラー版）は、ホームページに掲載しています。「宇都宮市立宝木中学校」で検索してください。

